



# 新治小学校だより

令和元年度

1月号

学校教育目標：ひびく心 はずむ体 見つめる目

～新治のよさを持続して活かしながら、

よりよい社会を創ろうとする子どもを育む学校を目指して～

令和2年1月7日

## 新しい年が始まりました ～「子どもたちがよりよく成長する姿」をイメージして～

校長 宮本 雅司



新しい年、2020年 令和2年が始まりました。保護者や地域の皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えになったことと思います。年末年始は、子どもたちにとって、お正月文化を味わったり家族や親戚の方とふれ合う機会があったりと、普段の生活とはまた違う体験が数多くできたのではないのでしょうか。

冬休み前の朝会では、休業中に大切にしたい話とともに、教職員がクリスマスソングを演奏しながら子どもたちを送りました。お子さんの生活はいかがでしたでしょうか。オリンピック・パラリンピックが日本で開催される今年、昨年のラグビー同様、盛り上がる一年になることでしょう。学校生活でも、子ども一人一人が活躍する姿をイメージしながら、保護者や地域の皆様とともに、未来を創る子どもたちをよりよく育てていきたいと気持ちを新たにしています。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

先月は、人権週間がありました。廊下には、各クラスで考えた人権を大切にしようとする標語が飾られています。12月のある日、あるお子さんが私と副校長のところに来て、勇気を出して話をしてくれた姿が印象的でした。話の内容は、周りの子に「馬鹿」等の悪口を言われるとのこと…。人は時に悲しい言動をしてしまいます。自分で意識せずとも、何気ない言動で人を傷つけてしまうことがあります。そんな日々勉強中の子どもたちに対して、私たち大人ができることは、よき先輩として望ましい姿を見せることかなと思います。子どもたちは、大人の様子をよく見聞きしています。人のよさを認め合う言動を心がけたいものです。そのお子さんは、水槽の魚やウサギの命にも心を寄せていました。子どもの優しい素敵な姿から、教育で大切にしなければならないことを改めて感じています。

12月は、第3回『はぐくみ協働運営協議会』もありました。一部ですが、主な話題です。

### [わくわくデーについて]

- 子ども主体でよいと感じた。今までにない取組があった。保護者負担も減るだろう。
- 1,2年生は、学習したことを活かして自分たちでよく遊びを考えていた。3年生の蚕は、一つのことで、こんなに調べているのかと感心した。
- 4,5年生の竹やわら細工は、子どもたちのかかわりが強くてよかった。子ども同士で教え合っている姿がよかった。人にもものを教えるときの子どもたちの元気な姿が見られた。
- お茶コーナーに6年の子が1年を連れて来ていたのはよかった。
- 染め物など、よく調べている掲示物は小冊子などに残せないか。
- 例えば6年の防災で、底の厚い靴は何のためにあるのかなど、発展性をもたせた指導も必要では。
- 理科室や他教室を使うなど、場の工夫ができるとういのは。 ○受付や防犯も再度考えたい。

### [その他]

- 夏休み前後を中心に、大規模修繕工事がある。床は未定。外壁やプール等の塗り替えの予定。
- 台風等による避難場所について。 ○児童作品展での保護者・地域の方の作品展示について。

保護者の皆様には、個人面談へのご来校もありがとうございました。これからも寒い日が続くと思います。インフルエンザ等、子どもたちの体調も心配です。各ご家庭におきましては、子どもたちの健康管理等へのご配慮も引き続きよろしくお願いいたします。

